

2026 年度入学者選抜 出題意図

【方式】 一般選抜前期日程標準科目方式

【科目】 英語

本試験は大きく二つの部分で構成されている。

前半は語彙・文法・語法などの基礎的知識や技能を確認する小問群であり、英文を正確に理解し、適切に処理できる力を測定することを目的としている。具体的には、時制や比較、仮定法、関係詞などの文法事項に加え、語法や会話表現についても問われており、受験者が英語学習の基盤となる基本的理解力を十分に身につけているかを確認する構成となっている。また、単なる知識の暗記ではなく、文脈に応じて自然で適切な表現を選択する力や、英文の意味内容を正確に把握する力も評価している。

後半は会話文、e-mail、論説文など多様な英文素材を用いた読解問題によって構成されており、与えられた情報を整理しながら論理的に内容を理解し、要点を把握する力が求められる。会話問題では、場面や人物関係を踏まえて適切な応答を判断する力を測定し、実際のコミュニケーション場面を想定した英語運用能力を評価している。また、e-mail 問題では、実生活に即した内容を通して情報把握力や文脈から語句の意味を推測する力を確認している。さらに、論説文読解では、筆者の主張や論理展開を読み取り、複数の考え方を比較・整理しながら理解する思考力・判断力を測定している。

全体として、本試験は基礎的な知識・技能の定着を前提としながら、そこから発展して、英文を論理的に理解し、状況に応じて適切に運用する力を総合的に評価する構成となっている。知識・技能に加え、思考力・判断力・表現力までを段階的に測定することで、学力の三要素を総合的に評価することができる点が特徴である。